

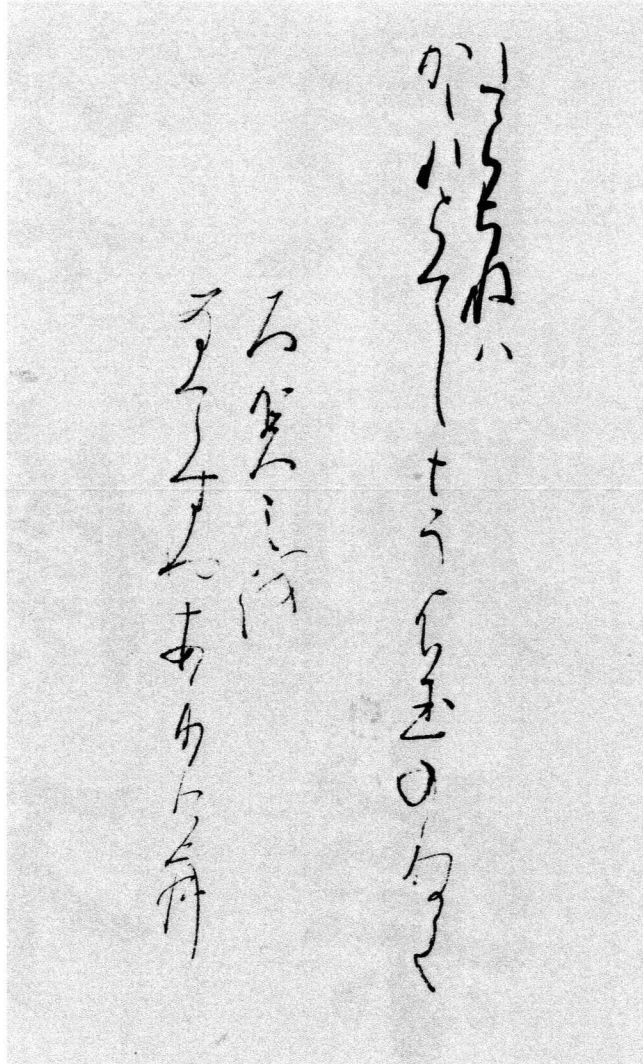
中村素堂先生の仮名散らし書きの魅力 (十)

— 三十六歌仙 —

たちねはかかれとてしもうばたまのわが黒髪をなですやありけむ

僧正遍昭 まじよのんじち

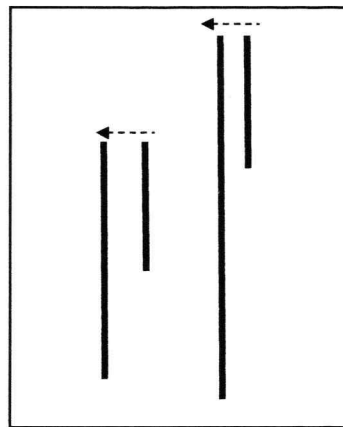
(僧正遍昭)
八一六(弘仁7)〜八九〇(寛平2)。俗名は良実宗貞。仁明天皇の信任を得たが、天皇の崩御を悲しんで出家した。「六歌仙」の一人。軽妙洒脱・流暢な歌風で有名であります。



中村素堂先生の書

中谷春径先生提供

〈線的構成〉



〈字母〉

多らちねは
か、れとてし
もう者玉のわが

ろ 賀ミ越
なですやありけむ

〈歌意〉

「たちね(母親)は、まさかこのようになると思っ、私の黒髪をなでたのではなかったらう。」この歌は、『後撰和歌集・1240』に載っています。

左右2集団2行づつ構成で書かれています。いずれも
行の頭揃える「下り藤」調に書かれ、右の2行はでき
るだけ行を詰めて1行のように見せて書かれています。

(中村青藍)